

令和5年度動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクール受賞作品

○最優秀作品（環境大臣賞）今年度動物愛護週間ポスターに使用



上林 瑛莉奈さん（京都府在住）

◆作品に関するコメント

どんな動物でも飼うのにあたって、その動物の命に責任を持つことが大切だと思います。本当に飼えるか、お世話できるのかなどよく考えて、動物達によりそってほしいと思い、描きました。

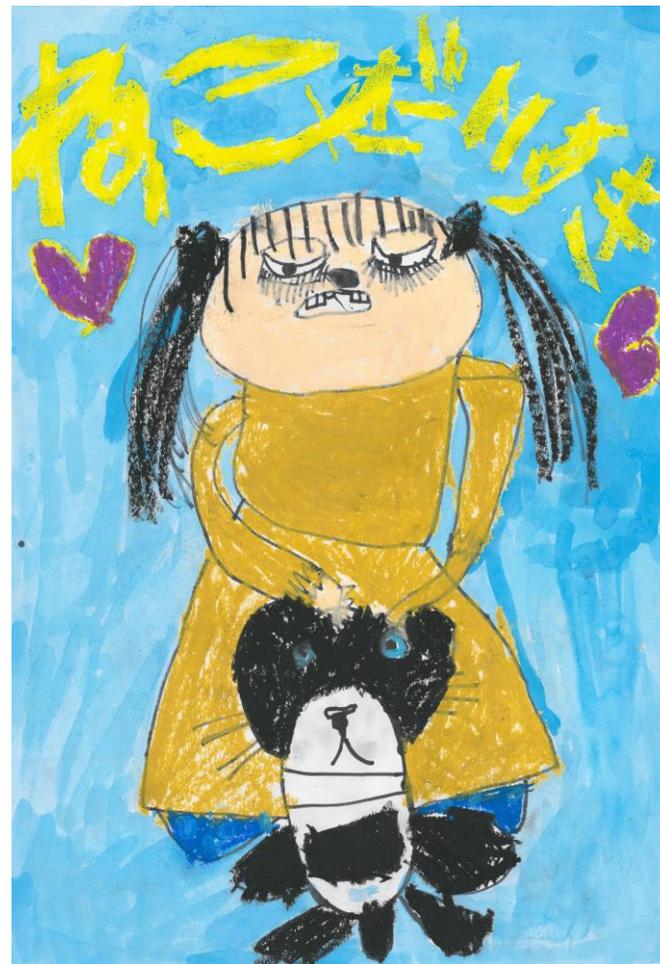
○優秀作品（動物愛護週間中央行事実行委員会委員長賞）※50音順



大野 雄太さん（神奈川県在住）

◆作品に関するコメント

ぼくは生まれつき耳が聞こえにくく、補聴器をつけて生活をしています。聾学校という学校に通っています。ぼくが生まれる前から、自宅でコーギーの「おいも」をペットとして飼っています。ぼくはおいものことが大好きです。おいももぼくのこと大好きだと思います。おいものことが大切なので、その気持ちを込めておいもを抱っこしている絵を描きました。



岡田 久瑠美さん（神奈川県在住）

◆作品に関するコメント

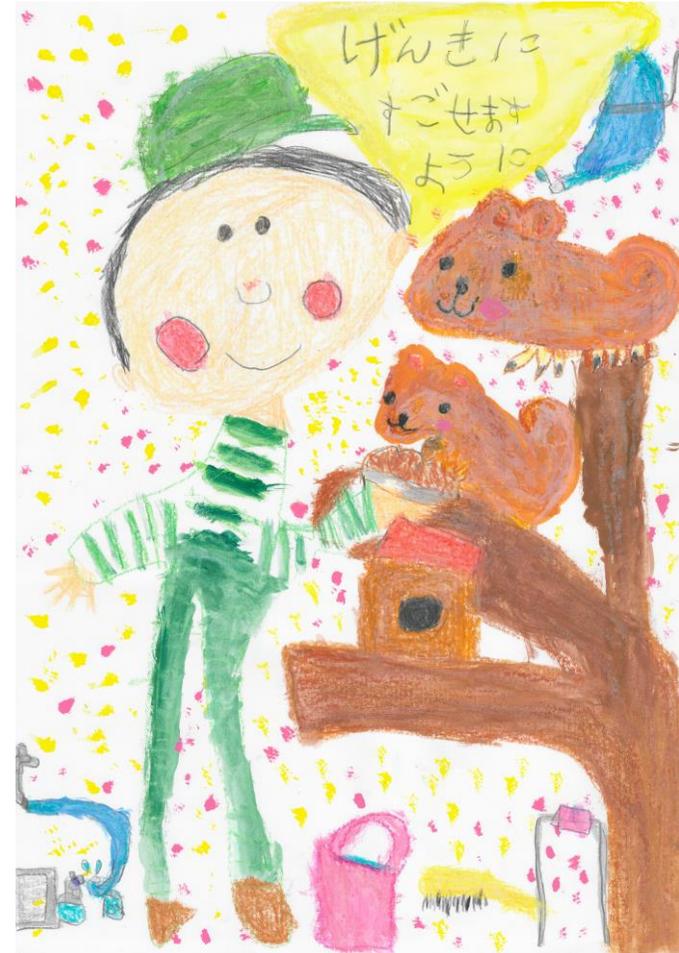
かわいいネコをなでている自分を描きました。ネコを見ながらなでていることがわかるように、目の描き方を工夫しました。絵を描いているときも、「かわいい〜！」と言ってネコへのきもちが表れていました。



小野 心花さん（兵庫県在住）

◆作品に関するコメント

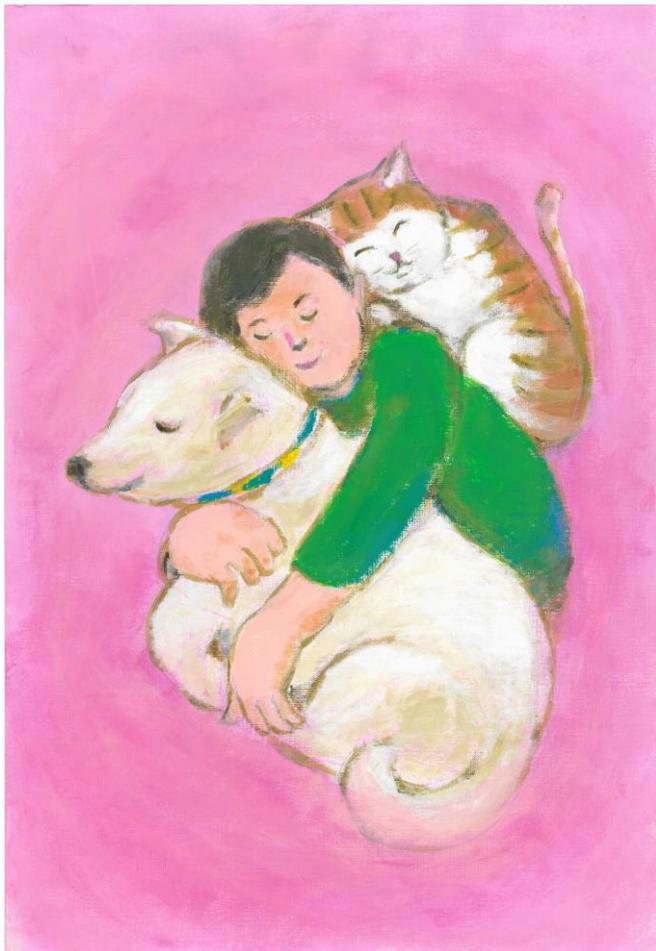
私が小学生の時からずっと一緒に愛犬と自分をかきました。人の表情から大切にしている、大好きなどという思いが感じ取れるよう工夫しました。



中島 秀仁さん（福岡県在住）

◆作品に関するコメント

今日は、幼稚園で飼っているリスのお世話当番の日。朝一番に、お部屋をきれいにお掃除して、お水とごはんをかえた。お世話を経験してから、「元気にすごせているかな？」と毎日リスの様子をじっくり観察するようになりました。



山内 久さん（青森県在住）

◆作品に関するコメント

ペットから癒しをもらう、そんな一場面をイラストにした。毎日の世話や健康管理等、ペットを育てるには大変なことも多々あるがそれ以上に、私たちに癒しを与えてくれる。飼い主は、ルールを守り、命の尊さを自覚し、責任を持って育てなければならないと思う。